東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Vol.44　第2217回例会　2012.6.7

今年度会長テーマ　和の心　自然に学びて未来を創ろう

■司会：
石山例会運営委員長

■点鐘：小町会長

■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
荻野会員

■お客様紹介：
野澤パスト会長

◆ゲスト：米山奨学生　朴動浩様

■会長報告　小町会長

45年度も残り一カ月を残すのみとなりました。野村幹事、会員皆様、そして菱沼事務局の御協力でここまで来ることが出来ました、心より感謝します。例会も残すところ、本日の當麻職業委員長の職業奉仕についての卓話、次週は福島へ、猪苗代ＲＣとの合同例会と親睦旅行、そして二週にわたり一年を顧みてのクラブ協議会です。中丸次年度会長に和やかなバトンタッチをしたいと思います。どうぞ、出席率の向上と、ニコニコＢＯＸ御協力よろしくお願いします。
ＦＲＣゴルフ大会は天候に恵まれ、楽しいプレーができたようで何よりでした。

・昨日、18：30よりたきびにて6月度理事・役員会が行われました。
・台湾（第3480地区）との姉妹地区提唱のアンケートが来ています
・心の東京革命推進協議会より賛助会費の件が来ています。

■幹事報告　野村幹事

■オン・ツー・リスボン委員会：
第2回地区オン・ツー・リスボン委員会の案内について
2012年7月13日（金）　16:00～
於　椿山荘　木春堂

■ガバナー事務所：
・2011～2012年度地区補正予算の報告の受理
地区青少年交換委員会特別会計の補正予算書並びに2011～2012年度上期収支決算書の受理

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／赤木　盛一
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

・台湾（第3480地区）との姉妹地区提携に関する件について

■心の東京革命推進協議会：
平成24年度協議会活動への継続支援及び会費納入のお願いについて
賛助会員費　￥10,000

■回覧：ガバナー月信 6月号

■“社会を明るくする運動”東村山市推進委員会：
平成24年度（第62回）“社会を明るくする運動”東村山市推進委員会の開催について
平成24年6月12日（火）　19:00～
於　東村山市役所

■唱和

第12章　「売手よし」「買手よし」「世間よし」の「三方よし」は日本の職業奉仕だ

■出席報告　相羽例会運営副委員長

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
33	22	0	9	71.88

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：8名
■前々回出席率メークアップ修正後：73.33%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都西ＲＣ
戸澤会員：地区委員会

■ニコニコＢＯＸ　野村（裕）例会運営委員

■会員誕生祝月：
戸澤会員

■ご結婚祝月：
野村（高）幹事
野村（裕）会員

◆當麻会員：本日は職業奉仕委員会としての最後の卓話です。本日の卓話は樺澤会員に協力して頂きました。よろしくお願いします。

◆神﨑会員：会社の編成変えで木曜日を空けられなくなり欠席して申し訳ありません。もうしばらく待ってください。

◆小町会長、野村幹事：
當麻さん、今日の卓話よろしくお願いします。

◆野澤会員、小町会長、野村幹事、相羽会員：
写真ありがとうございました。

本日のニコニコ合計：　30,000円
累　　計　：1,166,322円

■奨学金贈呈

■米山奨学生
朴　動浩 様

■委員長報告

■戸澤クラブ管理
委員長代理

皆さん、こんにちは。ホールインワンのお祝いの件ですが、今日もう1回見直して下さい。6月11日と7月10日ですから手帳に書いて頂きたいと思います。こういう時ですから、景気が悪いとか世の中色々おかしいのですが、野澤さんのホールインワンはすごいことなので、ロータリーでは盛大にやろうと思い企画しましたので、委員長に代わってご報告申し上げます。宜しくお願いします。

■中丸クラブ奉仕委員長

皆さん、こんにちは。クラブ奉仕委員会からお願いがございます。過日5月に炉辺会合を実施させて頂きましたけれども、そろそろクラブ概況と事業計画書の原稿アンケートをまとめる時期に入ってまいりました。毎年なかなか原稿が出てこないのですが、各委員長さん、クラブ概況に委員長方針を載せますので、原稿の方を早めにお出しして頂きたいと思います。一応、一次締切を6月末日とさせて頂きます。どうしても間に合わない方につきましては、二次締切を別途用意させて頂きますが、なるべく皆様6月30日までにご提出を宜しくお願い致します。以上です、どうもありがとうございました。

■村越会員増強副委員長

皆さん、こんにちは。会員増強の方はあと何回かしかありませんけれども、頑張って今進めております。ちょっと話は変わりますが、45周年の時に、東村山の市役所に中学校の楽器の遺贈分として東村山ロータリークラブが20万円寄付したのでございますが、それで東村山四中と六中にドラムセットとトランペットを買って頂きました。定価35万円ぐらいのものなのですが、普通は10万円以上は入札になるのですね。ですが、これは寄付ですから、私どものロータリークラブからお金が入っているので、私どもで買って頂かなければと思いまして、北久保さんに相談しました。北久保さんから市長さんに言って頂いて、無事に買って頂きました。お金はちゃんと学校に入ったというご報告でございました。どうもありがとうございました。

■町田会員研修委員長

皆さん、こんにちは。ここでロータリーの友を説明する目的は、前回も申し上げたかもしれませんが、クラブ細則第8条の第1節に書いてございます。それに基づいて皆様にロータリーの友を大いに読んで頂きたいと思います。本日が今年度の最後でございます。聞いて頂きたいと思います。

まずロータリーの友の歴史でございます。1975以来、かれこれ60年前からロータリーの友が発行されております。これは日本のロータリーが二つに分かれた時の名残でございます。だいたいその時は50円、現在皆さんこの定価をご存知でございますか。あまり感じないかもしれませんが、現在200円でございます。非常に安いです。だから大いに読んで頂きたい。今、こんな素敵な雑誌が200円で読めることは滅多にありません。これを編集なさっている方は現在9人だそうです。現在、一般社団法人になっております。法人になったからロータリーとは全然関係ないとかそういうあれではございません。ということで、来年度60周年を迎えることになります。
本日の6月号でございますが、横開きの46ページ、「ロータリーの徽章」これはロータリーの会員団という証でございます。世界中どこに行っても、この会員章があれば、親しくお話しができる、そういう一つの目的がございます。松下幸之助さんが社章といういわゆる会社の章ですね、それと一緒にずっと付けていらっしゃったそうです。それと、皆さんもよくご利用になると思いますが、フライドチキンのケンタッキーの創業者、カーネル・サンダース。店頭にあるあの大きい像が日本における一番のＰＲ、ロータリーのＰＲだそうでございます。お孫さんがケンタッキーを買いに行く場合、店頭に大きな像があり、胸に大きなロータリーのバッヂを付けておりますので、親しみを持って一つ宜しくお願いします。
1年間、先ほど申し上げました細則に基づいて皆様にロータリーの友のご案内を差し上げました。来年度は山本さんが一生懸命やって頂けるのではないかと思っております。それと、今年のロータリーで一番大きい事業としまして、これは菱沼さんにご協力頂いて調べて頂いたのですが、ポリオの撲滅があります。ビルアンドゲイツ財団が2億ドルのチャレンジをし、ＲＩのＨＰの1月17日のニュースとして出ておりましたが、目標額が達成されました。これが世界ではロータリーが行った1つの奉仕では一番大きな仕事だったのではないかと思います。これからもまだ1ヶ月あります。小町会長には色々な重鎮がありますが、大いにクラブをまとめて頂いて、次の中丸体制にバトンタッチされることをお祈りいたします。本年度は色々とつたない説明でございましたが、ありがとうございました。

■赤木クラブ管理委員長

皆さん、こんにちは。時間ですので、一言だけ。来週の14日・15日の親睦旅行ですけれども、東村山駅東口に7時に出発ですので、その15分前ぐらいまでにお集まり頂ければと思います。以上です、宜しくお願い致します。

■卓話

■當麻職業奉仕委員長

■樺澤職業奉仕副委員長

日米特許にみる歴史と職業奉仕

◆當麻職業奉仕委員長

皆さん、こんにちは。本日をもちまして職業奉仕委員会の本年度最後の卓話となりました。本日卓話をするにあたり、弁理士の樺澤先生にご協力頂きまして、作成することが出来ました。私、樺澤さんから、毎週例会の時に、特許に関する資料を頂きました。家には、アメリカの特許と日本の特許で8cmくらいの厚さの資料が2冊あります。樺澤さんには本当に協力して頂いて、ここ5～6年になりますかね、そういう資料を頂きまして、本当に興味を持った次第でございます。さて、特許と言っても結構身近にあるものと遠い存在のものがありまして、頂いた資料を見ますと、歴史の流れが非常に良く分かるのですね。そしてまた、日本人の誇りというか優秀さが非常に良く分かり、「よーし、私もやるぞ。」という気にならせてもらいます。そんなことを今日は映像を通して樺澤さんに協力頂きながらこの30分をやっていきたいと思います。それと、最後の方にこの特許に関係して色々なロータリアンの方が出てきますので、それを通して職業奉仕について多少語らせて頂きたいと思います。

まずこれは、アメリカの特許ですね。日本では江戸時代末期に特許が出願されまして、またこれが日本では考えられない人物ですが、皆さん誰だと思いますか。この辺を詳しく樺澤さんに説明して頂きたいと思います。ちなみに1849年3月10日でございます。

◆樺澤職業奉仕副委員長

皆さん、こんにちは。実は今日手伝いと言われて突如呼ばれましたので、どこまでお話できるか分かりませんが、ご説明をさせて頂きたいと思います。これは大分古いデータなので私も覚えていないのですが、確か川を船で渡る時に、底が浅い所と深い所があると浅い所で座礁してしまうので、その時は船を浮かせなければいけないということで、確かアメリカ大統領のリンカーンが発明して、ここに空気を入れて浮かせて浅瀬を航行し、深い所に行くと空気を出して行くというような特許だったのではないかと思います。

◆當麻職業奉仕委員長

ありがとうございます。日本で考えると、例えば総理大臣がこういうことをするのかなと思います。この資料を頂いて色々見てびっくりしました。アメリカではこういうことがあるのかという風に思いました。

次は、皆さん、これはご存知のマッチですね。これは1837年9月29日にマッチの特許が出されております。このマッチも特許でございます。

さて、次ですが、明治中期には日本のエジソンと言われました新潟県出身、樺澤先生と同郷でございます屋井先蔵氏が電気時計を動かすために明治25年に乾電池を出願しております。そして次々と明治27年には電話機を出願しております。これが屋井先蔵氏なのですが、昨年の11月に朝日新聞に掲載しておりましたものをこうして映像にしております。こうして日本の先人を見ますと、想像力そしてパワー、これはものすごく誇りに思います。ここで、専門家として樺澤さんより一言、所見等を付け加えて頂きたいと思います。

◆樺澤職業奉仕副委員長

今、委員長が説明された通りですが、屋井さんは私と同じように長岡の出身でございますが、本来ならばノーベル賞級の方です。それまで電池というのは液体を用いました蓄電池でございましたが、それを使わないで簡単に使える、ただし使い捨てですけれども、乾電池では世界で一番初めのはずだったのですが、屋井さんはお金がなかったので、出願が少し遅れて、イギリスの方が一番最初の記録として残っております。

◆當麻職業奉仕委員長

ありがとうございました。さて、ここで皆さんにクイズを差し上げたいと思います。飛行機についてです。皆さんご存知の通り、ライト兄弟が発明して、初めて飛ばしたのもライト兄弟です。そこでクイズなのですが、この飛行機の特許を出願した時の英語名は何でしょうか。これは驚いたことに、和製英語なのですね。フライングマシーンなのです。いつからエアープレインとなったか私は分かりませんけれども、最初の特許はフライングマシーンなのです。そしてライト兄弟はこの特許によって、皆さんご存知のようにすごくお金持ちになるのですね。皆さんもこれからでも遅くないので、樺澤先生がいらっしゃるので色々な特許を出願してはいかがでしょうか。

そして次、これはご存知のとおり、日本では明治23年にトヨタの創業者、豊田佐吉が織機の特許を取得しております。

それから、明治後期から大正期に入りますと、レジャーの特許ができています。これは野球見物得点表と書いてありますが、審判が持っているインジゲーターですね。野球見物をする人がストライクだとかボールだとかアウトだとかやるように、特許を取ったのが初めなのです。ですから、審判が持つようには特許は申請されていないのです。この辺もすごく面白いですよね。私の商売と関係があるので、これは非常に興味を持ちました。野球見物得点表というのは、絵がなかったのでどんなものだろうと想像して次のページをめくると、「なんだ、インジゲーターではないか」と。今は審判が使っていてスコアボードがありますから自分で書いたりしませんよね。そ

の頃はスコアボードがなかったのではないかと思います。次に、グローブなのですが、これが先日職場見学で行きました、水野利八さんが大正10年1月26日に特許を取得しております。アメリカでも日本でも色々な形で特許が取得されております。

これは、今我々が使っている折り畳み箸です。大正8年に特許が出されております。こういうものを見ますと、非常に日本人としても色々なアイデアや考えを持っている人が常にいたのだなと思います。

さて、次ですが、これは電波のアンテナですね。通称八木アンテナと言いまして、これが何と言いましょうか、世界ナンバー1ですね。次ですが、これは先ほどのアンテナが日本の軍隊で使われなくて、ドイツのメッサーシュミットにレーダーとして使われたということです。日本の軍隊は、そういう風にすると敵に知られてしまうということで採用しなかったそうです。それが世界的に第二次世界大戦の時にはメッサーシュミットにレーダーとしてアンテナが付けられていたと。これはもう日本が誇る世界唯一のアンテナということで、世界に名が通っている八木アンテナ、皆さん頭に置いておいて下さい。テレビのアンテナから含めてすごく有名だと思います。これが日本ではなく、外国から有名になったという話なのですね。

これは、ファクシミリですね。これは昭和12年に特許を取っています。今の走りは昭和12年に日本電気、今のＮＥＣが特許賢者となってファクシミリが発明されたということでございます。

さて次は、先ほど町田研修委員長がおっしゃった通り、日本でのロータリーの特許でございます。昭和25年に特許を取得しております。ロータリーの商標の方も2つともやっております。

◆樺澤職業奉仕副委員長

今の特許ですが、ロータリークラブという名義で取っておりません。というのは、法人格がないので、日本では特許を取れないので、当時の日本のガバナーが何かのお名前で取っております、今は法人格を持っていますので、国際ロータリーでお持ちになっております。

◆當麻職業奉仕委員長

次によく見て頂きたいのですが、これは平成14年11月と11年5月の中国の商標登録です。どのように感じるでしょうか。日本では有名な有田焼ですね。これは両方とも中国の特許でございます。ということは、日本の有名な有田焼を中国で有田焼として売ることはできない、こういうことを中国人は平然とやって汚いなと感じます。こんなものが、樺澤さんに頂いた資料の中に、ありとあらゆる所に日本のものがあります。富士山とか青森県、讃岐うどん、もうモラルの問題を通り越して非常に中国人と付き合うのが嫌になってくるなと思います。こんなことを平然と行っていますので、もう本当に他にも数多く中国ではありますけれど、我々ロータリアンは4つのテストを照らし合わせて職業奉仕にまい進しようではありませんか。こういうものでは本当に許されないと言っても結局現実ですので、非常に憤慨を覚えた一つでございます。

次ですが、これはステイトメント・オブ・フレデリック・ツゥイードというものですが、これにドナルド・カーターが関わっております。訳をしてきたので、簡単に読ませて頂きます。「1906年の初め頃、私はエバレット・アレンというある発明家に、ある空気弁の発明と特許の取得のため融資を始めました。それは私が製造したいと思っていたものでございます。当時の私の代理人はドナルド・Ｍ・カーター氏、彼は当時シカゴのマーケットビル1410にいました。アラン氏と私は1906年の初めにこれらの発明と特許の申請についての相談をカーター氏によく持ちかけていました。そして1906年4月のある日、私はカーター氏にロータリークラブの会員になることを勧めました。その時、特許専門の弁理士がいなかったからです。彼は興味を示し、私はシカゴのロータリークラブの枠組みと規則のコピーを彼に見せました。その当時のクラブの目的は、『メンバー内の事業発展のためのプロモーション』でした。彼は、『シカゴの利益発展のために、そして市民の中で忠誠が広がるために。』という目的の追加を提案し、そしてこの改正案はクラブで承認され、次の規約に載せられました。これにより行われた最初の事業のうちの一つは、市庁舎・市役所・市立図書館などに公衆トイレを建てたことです。このアイデアは私がカーター氏に提案したもので、私達は多くの議論を重ね、クラブにもちかけ、カーター氏を議長として公衆トイレ公約を掲げ、最終的に市の役員と会談しました。事業的だったので、様々なクラブのメンバーとの会議を、シカゴロータリークラブの呼びかけによりグレート・ノーザンホテルで行いました。この計画はこの会議で承認され、カーター氏とシカゴロータリークラブの働きかけの結果として市庁舎などに公衆トイレが建てられました。上記の文章が正当であることを認めます、ドナルド・Ｍ・カーター」こんな風に書いてあります。この空気弁の特許を取得するためにカーターという弁理士を使ったと、それがこんなことでカーター氏がロータリークラブに入ったということですね。これでドナルド・カーターは弁理士だということが非常に良く分かると思います。こんな職業をしていましたという話でございます。

次は、職業奉仕の生みの親と言われたシェルドンがクラブに入ってから何年かして退会している理由を読み上げておきます。「ポール・ハリスやチェスレー・ペリーはロータリアンとして一生を終えましたが、シェルドンは1921年以降ロータリーとの関わりを断ち、1930年に退会しております。職業奉仕を考えた人がなぜ退会したのかという理由を探って色々な諸説が流れているところでございます。私なりの推論を披露したいと思いますが、ただしこれは状況証拠を積み上げた、私の個人の推論に過ぎないことをあらかじめお断りします。まず言えることは、シェルドンは経営学の専門家で並びに教育者であって、彼の頭の中にあるのはいかに合理的な企業経営をして事業を発展させるかを教えることであり、その他の対社会的な活動によって社会に貢献することではなかったことです。彼の文章の中からは、職業を通じた奉仕活動以外の対社会的奉仕活動に関しては一切触れておりません。親睦と会員の物質的相互扶助団体にすぎなかったロータリーに新しい経営学に基づく奉仕理念を提案したのがアーサー・フレデリック・シェルドンです。

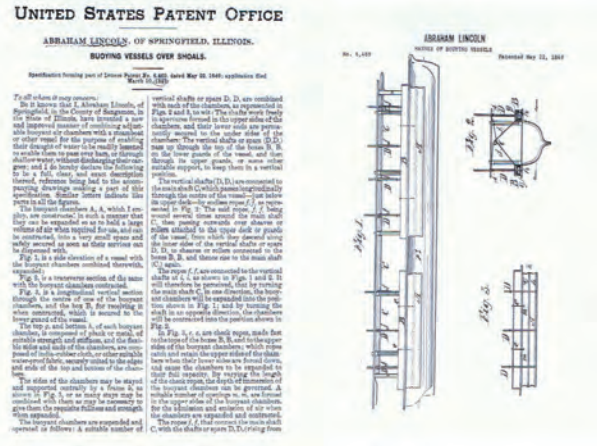
シェルドンは彼のビジネススクールのモットーをそのままロータリーの職業奉仕と置き換えた一人でございます。シェルドンの職業奉仕の理念は継続的

な事業の発展を得るためには自分のもうけを優先させるのではなく、自分の職業を通して社会に貢献するという意図をもって事業を営む、すなわち、会社経営を経営学の実践だと捉えて、原理原則に基づいて企業経営をすべきだと考えました。すなわち、自分の事業を経営学の実践だと考えて、継続的に利益をもたらす顧客を確保する方法をいかに編み出すか説いたのです。シェルドンの文章を読む限り、この考え方は彼が初めて経営学の本を出版した1902年から最後の著作1929年まで一貫して変わっていません。あえて変わった点を探すとすれば、晩年には利益を保全することが加わったくらいです。シェルドン・スクールでは大盛況で、数多くの卒業生を輩出して、その後のアメリカの産業界の中枢としてアメリカ経済を担っていきました。1921年ロータリアン約8万人に比べてシェルドン・スクールの卒業生は約26万人という数からも明らかでございます。」

読むとちょっと長いのですが、最後の方にいきます。

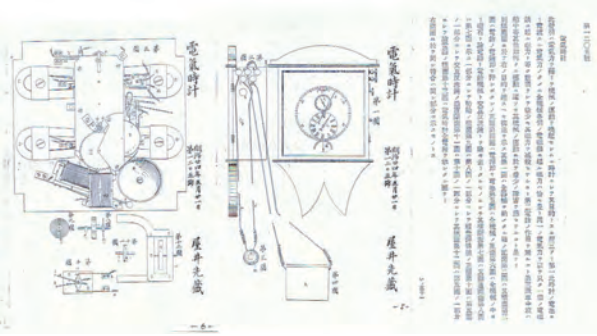
「シェルドンは1921年にエジンバラで開催された年次大会でロータリーの哲学という表題の講演をしておりますが、これを最後にロータリーとは完全に手を切っております。そして1923年決議23-34　service above selfとHe profits most who serves bestの双方が対等な形でロータリーの奉仕理念として確定したことも、シェルドンにとっては不愉快なことであったと推測できます。シェルドンがロータリーと袂を分かつ誘因となったのは、1927年の四大奉仕制定にあったと思われます。奉仕理念を持っていなかったロータリーに新たな経営学に基づく奉仕理念を提唱して、その理念のもとで、発展させてきたにも関わらず、この四大奉仕の制定によってシェルドンの奉仕理念は4分の1の理念に格下げされたわけです。さらに、この四代奉仕の制度はイギリスが中心になって作ったため、職業奉仕がVocational　serviceと名付けられました。いわゆる職業天職論の要素が入ってきました。シェルドンは絶対にVocationという単語を使わずにOccupationで通してきました。Gotという言葉の使用も避けてきた傾向があります。決定的な亀裂は1929年の国際大会にＲＩからHe　profits most　who　serves　bestの廃止という決議29-7が提案されたことです。もっとも、この決議案は否決されましたが、シェルドンに大きな屈辱を与えたことは容易に想像できます。」

　ということで、皆さん、シェルドンがビジネススクールで教えていた職業奉仕の理念をそのままロータリーの職業奉仕に持ってきたわけでございます。色々な形で諸説が流れておりますけれども、シェルドンはこの時期に辞めております。シェルドンがいなかったら今の職業奉仕はロータリーにはないということが言えると思います。そんな形で一つこんなお話でしたけれども、樺澤さんのご協力を得まして、皆さんにご披露申し上げました。最後に、職業奉仕とは何ですかというコピーをしてきましたので、お目通し願えればありがたいと思います。ありがとうございました。


UNITED STATES PATENT OFFICE

ABRAHAM LINCOLN, OF SPRINGFIELD, ILLINOIS.

BUOYING VESSELS OVER SHOALS.



■第12回(6月度)理事・役員会

2012年6月6日(水)　18:30～19:50　於　たきび

■5月度の収支明細報告について
金子会計より報告があり、報告書の通り承認。(予算消化率を重視)但し、会費未納者に関して、今月中に當麻職業奉仕委員長のお力添えをお願いし、会費他を納付願う。

■創立45周年記念事業報告について
野澤実行委員長に同席いただき、菱沼事務局並びに中丸記念誌担当から報告があり、予算内で全て終了との事。

■その他事項
・次年度地区米山奨学副委員長より、沖縄にて6月23日開催の説明会他に出席の際旅費について、会より補助して頂けないかとの依頼につき、諮ったところ全額承認。
・第3480地区台湾との姉妹地区提携につき回答は、「どちらでもない」とする。
趣旨としては、地区全体の他クラブの総意を尊重するものとする。
・「心の東京革命推進協議会」賛助会費1万円拠出承認

■小町・野村年度の理事会は本日が最終回。出席して頂いた理事・役員の皆様に感謝

■点鐘：小町会長